

「リオ・デ・ジャネイロ」の街の様子

2022.9.5 校長 西谷 秀幸

始業式で、FLLのブラジル大会についてお話ししましたが、今日は、その大会が行われたブラジルのリオ・デ・ジャネイロの街の様子について、お話しします。

まず、リオ・デ・ジャネイロは、省略して「リオ」と呼ばれています。6年前、東京オリンピックの1つ前のオリンピックが開かれました。このリオで一番有名なのが「コルコバードのキリスト像」です。コルコバードという名前の丘の上にあり、リオの街が見下ろせます。もちろん、お決まりのポーズで写真を取ってきました。



また、ポン・ジ・アスーカルという岩山の上まで、ロープウェイで行ってきました。景色は最高でした。先程のコルコバードのキリスト像も見えました。



コパカバーナとイパネマという世界中で有名な海岸にも行ってきました。歩道には、波の模様の柄が描かれていて素敵でした。

ちなみに、始業式のときに吹いた笛は、この海岸で買いました。おじさんが「1個500円で勝ってくれ…」と近付いてきたので、「1個250円ならみんなで買うよ…」と交渉したら、半額にしてくれました。



昼御飯は、シェラスコといって、食べたい肉をその場で切ってもらって食べました。食べ放談だったのに、朝御飯を食べ過ぎて、お腹が空いていなかったの、少ししか食べられなかったのが残念でした。ちなみに、日本人以外、お客さんも店員さんもマスクをしていませんでした。

レストランのトイレにはこんな説明が書かれていたのですが、どういう意味だか分かりますか。これは、「吹いた紙はトイレに流さないでゴミ箱に捨てる」ように書いてあるのです。日本のように、トイレットペーパーを便器の中に入れて流せるというのは、世界では決して当たり前ではないのです。日本のトイレは世界一優秀なのです。

これは、路面電車です。電車の中に入ったら、スイカのようなもので支払います。これ、黙って乗っていてもバレないんじゃない…などと思っていたら、係の人がちゃんと中を見回っていて、支払わないで乗っていると、高いお金を払わされてしまうのだそうです。

実は、大会2日目に、乗る電車を間違えてしまうというハプニングがありました。乗り換えるために、スラム街の入口の駅で降りたのですが、実は、リオは犯罪が多くて危ない街なのです。日本人だ…という目でジロジロ見られているのがよく分かり、盗まれないように携帯電話はしっかりしまい、バックも前に持って、みんなが離れないようにしました。



街には、壁に描かれた大きな絵がいろいろな場所にありました。こういう壁画は、日本にはないですね。

ホテルからの景色も良く、野生の鳥もやってきました。夕焼けの景色も綺麗でした。コルコバードのキリスト像は、ホテルからも見えて、夜にはライトアップされていました。

行きも帰りもカタールという国のドーハ空港で乗り換えをしました。カタールは、11月にサッカーのワールドカップが行われる国です。ぜひ、どのあたりにあるのか、地図で確かめてみましょう。

これで朝会のお話を終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

〈先生方へ〉

2学期第1週、お疲れさまでした。まだ2日間ですが、子供たちは学校での生活リズムを取り戻すことができたでしょうか。まだ取り戻せてない子については、今週で学校生活のリズムを取り戻せるようにしたいですね。

さて、始業式では「ブラジル大会で活躍した卒業生」について話をしましたが、今回は、関連してブラジルの観光地や街の様子について話題にしました。私は、めったに海外に行かないからこそ、海外に行くことで日本とは違う文化や人々の良さについて肌で感じるとともに、日本文化の良さも再認識することができました。ブラジルという国は、6年生の教科書で事例地に取り上げられているくらい日本とは関わりの深い国ですが、子供たちにはその文化に触れる機会が少なく、知っているようで知らない国の1つではないかと思えます。実態に応じて、教室で補足をよろしくお願いします。

また、先週は、3年ぶりの青健ドッジボール大会、ありがとうございました。「新しいことにチャレンジする」「最後まで諦めずに戦う」…始業式の話ではありませんが、出場したメンバーに拍手を送りたいと思います。ちなみに「ドッジボール」の「ドッジ」の語源は、「dodge（巧みにすばやく体をかわす）」なのだそうです。面白いですね。

今週から、運動会特別時程も始まります。熱中症やコロナ対策をしながらの練習になりますが、よろしくお願いします。

【資料1】「ドッジ」の由来は、dodge（巧みにすばやく体をかわす）

『最新スポーツ大辞典』によると、「dodgeball ドッジボール」は、「dodge（巧みにすばやく体をかわす動作）+ball（ボール）」。

我が国の小学校で伝統的に親しまれてきたボール運動の1つ。遊び形式は自由、円形、方形ドッチボールなどがあり、別名「避球」とよばれるように投球、捕球、足さばき、体さばきが重要視され、バスケット・ボール型の運動技能の要素を多くふくんでいる。

また、一般社団法人日本ドッジボール協会のサイトには、以下のように記述されている。「大正15年、欧米留学から帰朝した東京高等師範学校の大谷武一教授により『ドッジボール』（ドッジ=DODGEとは身をかわすという意味）と改名され、今までの『円形デッドボール』『方形ドッジボール』から改められた。『ニュー・スポーツ百科 [新訂版]』には、「ドッジボールは和製英語」との記述があるが、「dodgeball」をキーワードにGoogleで検索すると、英語のサイトが複数ヒットすることから、あながち和製英語とも言えなさそうである。

【資料2】リオ・デ・ジャネイロについて

ブラジル南東部に位置するリオデジャネイロ州の州都。「Rio de Janeiro」とはポルトガル語で「1月の川」という意味。略称はリオ（Rio）。世界有数のメガシティであり、国内最大の観光都市である。商工業が盛んであり、港湾都市としても知られる。人口は600万人を超え、サンパウロに次いでブラジル第2位にランクされる。経済規模（域内総生産）でもサンパウロに次いで第2位にあり、アメリカのシンクタンクが公表したビジネス・人材・文化・政治などを対象とした総合的な世界都市ランキングにおいて、世界第56位、国内ではサンパウロに次ぐ第2位の都市と評価された。都市周辺の美しい文化的景観は「リオデジャネイロ:山と海との間のカリオカの景観群」として、2012年に世界遺産リストに登録され、2016年には、南米大陸では初となる第31回夏季オリンピックの開催都市となった。

また、カーニバルでも有名であり、コパカバーナ、イパネマなどの世界的に有名な海岸を有し世界3大美港の一つに数えられる美しい都市である。1960年にブラジルに遷都するまではブラジルの首都であった。また、1808年にナポレオンに本国領土を奪われたポルトガル王室が遷都してからブラジルが独立するまではポルトガルの首都であった。また、中南米有数の貿易港でもあるためにブラジルの経済的な中心地でもあった。近年は経済の中心地はサンパウロに移り、その地位が低下しているものの、依然として中南米有数の経済都市である。また、ブラジルのみならず世界でも有数の観光地としても、ショーロ、ボサノヴァを生んだ音楽の都としても名高い。